

委員会意見・要望及び当局処理状況（12月定例会）

H31. 2. 22

議案番号	件名	提案年月日	議決年月日	審査委員会	意見・要望	担当課	処理状況
第103号議案	損害賠償の額を定めることについて	30. 11. 30	30. 12. 26	文教民生委員会	職員の不適切な事務処理について業務体制、チェック体制の強化とともに、法令遵守の徹底を図り、今後は、交渉等を行う際は、1人の職員に任せることなく複数で対応する等、再発防止に努められたい。	教育総務課	職員に法令順守の徹底を図るとともに、疑問・不明点は確実に確認するよう指導した。業務については、交渉などは複数で対応すること、協議記録を作成すること、進行管理に努めることをあらためて確認した。
第108号議案	豊岡市立まちなか交流館の指定管理者の指定について	30. 11. 30	30. 12. 26	建設経済委員会	当初、新しい市街地の顔として「お菓子」をテーマとした賑わいの創出、そして地域経済に好影響を及ぼすというコンセプトの施設であったと思うが、まだまだ未達成の状況にあると認識している。5年間の指定管理期間延長ということであるが、指定管理者は当初の目的をしっかりと受け止め、その達成に向け十分努力されることを期待する。	環境経済課	平成30年12月26日午後、指定管理者と面談し、建設経済委員会での審議内容及び委員長報告で付された左記意見について説明し、協力を求めた。 また、平成31年1月23日に、監査委員による「指定管理施設の監査」を受けた際にも同様の指摘を受けており、次期指定管理期間の5カ年計画の中で「お菓子」をテーマとした事業内容を強化するよう改めて協力を求めた。
第118号議案	豊岡市立文化会館の設置及び管理に関する条例及び豊岡市立市民センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定について	30. 11. 30	30. 12. 26	文教民生委員会	出石多目的ホールの利活用についてより市民が利用しやすく、活用される施設にするために、市民、文化団体等の意見を反映し、市民の文化振興に資する施設となるよう利活用方法等について十分検討されたい。	文化振興課	出石多目的ホールは、市民センターの一施設としての位置付けとなったが、利用方法等は従前のままで変わらない。 今後も市民の文化振興に資する施設となるよう努めたい。

第120号 議案	平成30年度豊岡市 一般会計補正予算 (第8号)	30.11.30	30.12.26	予算決算 委員会	<p>教育環境の整備について、幼稚園等への空調設備整備、小・中学校コンクリートブロック塀等対策工事については、子どもたちの安心・安全を確保するため、工期等のさらなる検討、工夫を行い、早期稼働、設置に努められたい。</p>	教育総務課	<p>幼稚園等への空調設備整備については、設置が容易な壁掛け型タイプで整備したり、可能な園では小学校と合わせて施工するなどの工夫をし、早期完成を目指す。</p> <p>小・中学校コンクリートブロック塀等対策工事については、目視点検で緊急を要すると判断したものは施工済みであるが、その他については、塀内部を含む安全点検の結果を踏まえ、設計に着手している。</p>
					<p>出石文化会館解体設計監理業務について、解体設計監理費としては高額な予算であり、また解体工事費についても高額な費用が想定されるため、軽減に向け、厳正な検証を行ったうえで実施されたい。</p> <p>また、解体が完了するまでの間、施設の安全対策に万全を期されたい。</p>	文化振興課	<p>出石文化会館解体に当たっては、工事内容等について精査を行い、コスト縮減に努めたい。</p> <p>また、施設の安全対策についても十分配慮したい。</p>
第128号 議案	平成30年度豊岡市 一般会計補正予算 (第9号)	30.12.13	30.12.26	予算決算 委員会	<p>教育環境の整備について、幼稚園等への空調設備整備、小・中学校コンクリートブロック塀等対策工事については、子どもたちの安心・安全を確保するため、工期等のさらなる検討、工夫を行い、早期稼働、設置に努められたい。</p>	教育総務課	<p>幼稚園等への空調設備整備については、設置が容易な壁掛け型タイプで整備したり、可能な園では小学校と合わせて施工するなどの工夫をし、早期完成を目指す。</p> <p>小・中学校コンクリートブロック塀等対策工事については、目視点検で緊急を要すると判断したものは施工済みであるが、その他については、塀内部を含む安全点検の結果を踏まえ、設計に着手している。</p>

<p>第140号 議案</p>	<p>平成30年度豊岡市 一般会計補正予算 (第10号)</p>	<p>30.12.26</p>	<p>30.12.26</p>	<p>予算決算 委員会</p>	<p>地域活性化・地域住民生活等緊急 支援交付金の国への返還について、 平成27年度に(株)出石まちづくり公 社が「地域活性化・地域住民生活等 緊急支援交付金」を活用した補助事 業として「出石観光センター機能強 化事業」を実施した。</p> <p>その際、交付金の消費税等仕入控 除税額の返還が生じていたにもか かわらず、報告書の提出や返還を していなかった。このことについて、 会計検査院から不適切な取扱いと 指摘され返還が求められた。</p> <p>この他にも、昨年度の会計検査院 による検査を受けて「地域経済循環 創造事業交付金」の返還が、平成 30年度豊岡市一般会計補正予算第 8号で計上されるなど、度重なる不 適切取扱い事案が発生している。</p> <p>これらは、市が当該交付金制度の 内容等を適正に把握し、事業者に対 する説明及び指導を適切に行って いれば防げた事案である。</p> <p>今後、補助事業を活用する場 合には、この点について十分留意し、 適切な事業執行に努められたい。</p> <p>また、庁内のチェック機能を強化 するため、職員の研修を徹底され たい。</p>	<p>政策調整課 財政課 環境経済課</p>	<p>【政策調整課・財政課】 消費税仕入税額控除額に係る補助金 の返還は、確定申告後でなければ額が 確定できない場合(※)があるため、 補助金返還は、通常の手続きの中で発 生するものである。</p> <p>会計検査院から指摘を受けた、①報 告書の提出、②報告に基づく補助金の 返還、加えて③補助金申請時に額が明 らかな場合は減額して申請するよう平 成30年4月に補助金交付規則を改正し た。</p> <p>補助金交付規則改正後においては、 職員に対しては政策調整主幹会議や掲 示板を通じて周知を行うとともに、事 業者に対しては補助金の手続きを通じ て、規則及び制度の概要を説明した上 で、申請時に仕入税額控除額の減額、 または確定申告後において報告書の提 出、補助金返還の手続き等を徹底する。</p> <p>また、市の補助金制度全般について、 補助事業者への適切な説明、指導に努 めるよう各所管に周知する。</p> <p>※課税期間中の課税売上高が5億円以下、 かつ、課税売上割合が95%以上であるか、 課税期間中の課税売上高が5億円超又は 95%未満であるかにより、異なる。</p> <p>【環境経済課】 今回の会計検査院による検査～交 付金返還までの過程の中で、制度の適 正運用に向けた職員の意識は格段に 向上した。事業者への指導や事業内容 の状況把握などの事務改善も行って</p>
---------------------	--	-----------------	-----------------	---------------------	--	--------------------------------	---

						<p>おり、この緊張感を継続させることが重要と考える。</p> <p>「地域経済循環創造事業交付金」制度について言えば、チェック機能は事業者への融資を行う金融機関にも求められる。豊岡市経済連絡会議等の機会を通じて、意識共有・情報共有を図る。</p>
--	--	--	--	--	--	--